

◆ 4 ポストコロナ時代に健康で活力、
豊かさを高める施策と DX 施策



(主な事業)

健康で活力、豊かさを高める施策

8億 8,900 万円

自治体 DX の推進

26億 6,382万円

高齢者インフルエンザ予防接種費用助成

予算額 6億 34 万円

概要

季節性インフルエンザによる重症化リスクが高い高齢者などのインフルエンザワクチン予防接種費用を助成し、自己負担なく接種できる環境を整えます。インフルエンザワクチンの接種率を高めることで本人の重症化予防だけでなく、集団感染、発熱などの症状が類似している新型コロナウイルス感染症との同時流行による医療機関のひっ迫を防ぎます。

1 予算要求の背景、経緯

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会経済活動が活発化する一方で、引き続き、感染症の流行や季節性インフルエンザとの同時流行の可能性が懸念されています。

健康で安心した生活を送っていただくために、インフルエンザワクチンを接種しやすい環境を整えます。

2 事業の目的

季節性インフルエンザによる高齢者などの重症化リスクを低減することを主な目的としています。

3 内容

〈助成対象〉 (1)65 歳以上の方

(2)60 歳以上 65 歳未満で、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能が免疫機能に障がいをもつ身体障害者手帳 1 級相当の方

〈助成期間〉 令和6年10月1日～令和7年1月31日

〈助成回数〉 1回



問合先

健康政策部 感染症対策課長 関
電話:03-5744-1460

带状疱疹ワクチン接種費用助成

予算額 1億 5,383 万1千円

概要

带状疱疹を発症すると、水ぶくれを伴う赤い発疹が帯状に現れ、徐々に痛みが強くなり、眠れないほど痛むことがあります。

带状疱疹ワクチンを接種することで、带状疱疹の発症や重症化を抑えることができるため、発症リスクが高い50歳以上に対してワクチン接種費用の一部を助成し、区民の健康を支援する環境を整えます。

1 予算要求の背景、経緯

带状疱疹は免疫力の低下などに伴い、特に50歳以上の方に発症リスクが高まると言われています。

現時点で带状疱疹ワクチンは任意接種のため、全額自己負担となっています。健康で安心した生活を送っていただくために、带状疱疹ワクチンを接種しやすい環境を整えます。

2 事業の目的

発症リスクの高い世代の健康維持や経済的負担を軽減することを主な目的としています。

3 内容

〈助成対象〉 接種日現在、大田区に住民票のある 50 歳以上の方

〈助成期間〉 令和6年4月1日～令和7年3月31日

〈助成金額〉 ①生ワクチン(ビケン) 5,000 円

②不活化ワクチン(シングリックス) 10,000 円/回、2 回まで



問合せ先

健康政策部 感染症対策課長 関
電話:03-5744-1460

ランニング環境の整備事業

予算額 2,004 万円

概要

東京 2020 大会で盛り上がったスポーツへの関心の高まりを受け、誰もが気軽に参加し、楽しむことができるスポーツとして、ランニングの普及を推進し、区民の健康増進やスポーツ実施率の向上を図るため、ランニング大会とランニング教室を実施します。ランニング大会は、応援に来た家族など、誰もがスポーツを楽しむことができるようスポーツの体験会などのサブイベントも同時開催し、区民がスポーツに親しむきっかけづくりに寄与していきます。

1 予算要求の背景、経緯

東京 2020 大会の開催により、区民のスポーツへの関心が高まっています。この機会を最大限に活用し、区民の健康増進やスポーツ実施率の向上を図るため、子どもから大人まで幅広い区民が、身近な場所で気軽に取り組めるランニング事業を実施します。

令和5年度に初開催となるランニング大会を来年度も引き続き開催します。ランニング普及事業は、区内各所にて教室を開催します。

2 事業の目的

ランニング大会は、ランニング初心者や幅広い年代の方が参加しやすい種目で開催することで、ランニング・ジョギングを継続するきっかけをつくります。

また、ランニング教室は、区内のさまざまな場所をコースとして開催することで走り方の基本を学び、区民がランニングに親しむ機会とします。

3 内容

ランニング初心者や子どもから高齢者までの幅広い世代が一緒に参加し、誰もが楽しみながら走ることができるよう、複数の種目を用意したランニング大会を実施します。また、応援に来た友人や家族などもスポーツに親しんでもらえるようさまざまなスポーツの体験会やアトラクションなどのサブイベントを同時開催します。

ランニング教室では、講師からフォームやストレッチ方法など指導を受けた後、設定したランニングコースを実際に走行します。



【ランニング大会とサブイベントのイメージ】

問合せ先

スポーツ・文化・国際都市部 スポーツ推進課長 千葉
電話:03-5744-1635

大田区平和都市宣言記念事業「(仮称)平和のつどい」

予算額 9,563万4千円

概要

大田区は昭和59年8月15日に「大田区平和都市宣言」を行って以降、毎年8月15日に大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」として式典を開催するとともに花火を打ち上げています。

令和6年度は近年の悪天候による中止を受けて、式典と花火打ち上げ会場を分けて開催します。また、事業名称も「(仮称)平和のつどい」に変更して、区民に平和の尊さや大切さを感じていただき、平和なまちを未来へ引き継ぐことを目的として開催します。

1 予算要求の背景、経緯

本事業は、平和都市宣言事業の一環として、昭和62年から多摩川河川敷にて実施しています。

令和元年度には荒天、令和2・3年度は東京2020大会開催、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止、令和5年度は台風の影響により中止となり平成30年度を最後に実施することができませんでした。

令和6年度は、6年ぶりの開催に向け十分な安全対策を講じて、区民に平和の尊さ、大切さを語り継いでいく機会を提供する内容で実施予定です。

2 事業の目的

平和の尊さや大切さを若い世代に語り継ぎ、戦争のない平和なまちを未来へ引き継ぐことを目的としています。

3 内容

「(仮称)平和のつどい」は会場を2つに分けて、平和の記念式典を含む平和を祈念する催しを大田区民ホール・アプリコで開催し、花火打ち上げを多摩川河川敷で実施します。

アプリコではより多くの区民の方に来場していただけるよう、会場内を回遊できるような事業を展開していきます。

多摩川河川敷では平和への願いを込めて花火を打ち上げます。



【過去の平和記念式典の様子】

問合先

スポーツ・文化・国際都市部 文化振興課長 阿部
電話:03-5744-1217

郷土博物館特別展・龍子記念館企画展の開催

予算額 1,915万5千円

概要

郷土博物館では、区内で出土した縄文時代から古墳時代までの矢の先端に付ける鏃(ヤジリ)に焦点を当てた特別展を開催します。弓矢の誕生から現代までの歴史を関東の考古資料を中心に紐解き、いにしへの遺跡と現代に息づく寺社とをつなぐ機会とします。

龍子記念館では、川端龍子と現代アートの作品を展示するコラボレーション企画展を開催します。日本屈指の現代アート作品を有する高橋龍太郎コレクションの協力のもと、村上隆氏や奈良美智氏、草間彌生氏(出品作家は検討中)などの作品とともに、今なお輝きを放つ川端龍子の作品を紹介します。

◆郷土博物館特別展

1 予算要求の背景、経緯

ユネスコ世界遺産の縄文遺跡群の登録や全国の古墳ブームの機運が高まるなか、令和4年度の特別展「大勾玉展」では全国から多くの方が訪れ、考古分野の人気の高さがうかがえました。今回は考古ファンを軸にした「関東の弓矢」をテーマとした特別展を企画します。

一般的な弓矢のイメージは、現代のスポーツ競技としての弓道や時代劇や絵巻物に描かれた中世の合戦で使われたものですが、実は1万年以上前の縄文時代に狩猟具として誕生し、弥生時代以降には戦闘にも使用され、古墳時代には墓に埋葬される武器となるなど、長い歴史の中でその変遷を辿ることができます。区内では出土遺物としての鏃が複数出土していますが(写真1・2)、それらの評価や意義付けはなされていません。また、今回の見所の一つである東京都指定文化財の新田神社所蔵の縁起絵巻は、平成28年度に保存修理され、通常は非公開ですが、都内の博物館では今回初のお披露目となります(写真3)。



【写真1(左) 縄文時代の石鏃 都立田園調布高等学校内遺跡
写真2(右) 古墳時代の鉄鏃 塚越横穴墓群】



【写真3 新田神社縁起絵巻(部分)／新田神社所蔵】

2 事業の目的

弓矢を考古学の分野から通史的に捉えた展示は珍しいため、本展示では大田区の鏃を核となる展示と位置付け、関東周辺の考古資料を中心に弓矢の歴史を紐解き、考古・歴史ファンを始めとして、区内外に広くアピールする機会とします。

3 内容

《会期》令和6年10月8日(火)～12月1日(日)50日間(予定)

《対象》一般

《資料》区内の鏃、関東の遺跡出土の鏃、弓、埴輪、新田神社所蔵の絵巻物、六郷神社の子ども流鏝馬(動画)など 約1,500点(東京国立博物館など約30か所から借用予定)

《催事》講演会、展示解説、遺跡歩き(多摩川台公園内の古墳(写真4)、永寿院付近遺跡ツアー)、文化財まち歩きを予定。また、オリジナルの「景品カード(全8種類)」を作成し、入館者に枚数限定でプレゼントする予定。



【写真4 遺跡歩き(多摩川台公園内)の様子】

◆龍子記念館企画展

1 予算要求の背景、経緯

令和3年度に、龍子記念館で初めて現代アートを展示するコラボレーション企画展「川端龍子 VS 高橋龍太郎コレクション」を開催した際には、若い世代を含め多くの方が来場し、好評を博しました。区内でクリニックを営み、日本屈指の現代アート作品のコレクターとして知られる高橋氏との協力関係を深め、再び現代アート界を代表する作家たちの作品とのコラボレーション展示を実施します。



【令和3年度企画展(会田誠、山口晃らの作品)】

2 事業の目的

川端龍子の日本画作品と現代アート作品とのコラボレーション展示を行うことにより、若い世代を含めた幅広い年齢層に大田区の文化・芸術と川端龍子の魅力を龍子記念館から強く情報発信していきます。

3 内容

《会期》令和6年11月2日(土)～令和7年3月2日(日)90日間(予定)

《対象》一般

《展示作品》高橋龍太郎コレクションから村上隆氏や奈良美智氏、草間彌生氏などの作品を借用し、龍子の作品とともに展示予定。

《催事》高橋龍太郎氏を招いてのトークイベント、担当学芸員による講演会及びギャラリートーク、対話型鑑賞ワークショップ、プレス向け内覧会を予定。

問合先

スポーツ・文化・国際都市部 文化振興課長 阿部
電話:03-5744-1217

自治体 DX の推進

～わかりやすい・つかいやすい・やさしい大田～

予算額 26億 6,382 万円

概要

行政手続きのオンライン化や業務システムの標準化、データの利活用など、デジタル技術の活用による業務を変革する「DX」を推進することで、区民サービスのさらなる向上を目指します。

<主な事業>

(1) キャッシュレスの推進

- ◆うぐいすネット公園施設窓口等のサービス向上 **新規** 予算額 2,877 万 3 千円
大田区公共施設利用システム(通称:うぐいすネット)から予約できる区内の公園施設と集会施設へのキャッシュレス決済を導入することで、区民の利便性と施設利用率の向上を図ります。

《導入時期(予定)》

- ・うぐいすネット公園施設窓口キャッシュレス決済端末:令和6年10月
- ・うぐいすネット集会施設オンラインキャッシュレス決済導入に向けたシステム改修:令和7年10月

- ◆まちづくり情報閲覧コーナーのサービス向上(まちづくり情報閲覧システム) **新規** 予算額 2,713 万 4 千円
まちづくり情報閲覧システムから発行できる用途地域などのまちづくりに関する都市計画情報や建築計画概要書などの手数料の支払いにセルフ式キャッシュレス決済を導入することで、区民の利便性の向上を図ります。

(2) ネットワーク環境整備

- ◆区施設の公衆無線 LAN の設置 **新規** 予算額 545 万 9 千円
<大森北四丁目複合施設・(仮称)田園調布せせらぎ館体育施設・障がい者総合サポートセンター>
無線 LAN(Wi-Fi)を設置し、利用者の利便性向上と災害時の対応強化を図っていきます。

(3)BPR 推進・業務効率化

◆LGWAN チャットにおける ChatGPT 機能の追加

予算額 1,132万 2 千円

職員間で利用するコミュニケーションツール「LoGo チャット」のオプション機能として ChatGPT の試行を開始します。

議事録の要約や文章の調整といった定型業務のほか、新たな企画の立案におけるキーワードやアイデア出しなど、さまざまな場面においてAIを活用することで、業務効率化を目指していきます。

<その他、DX 関連項目>

(4)システム標準化対応

(5)マイナンバー普及促進・利活用

(6)オンライン申請・サービスの提供

(7)デジタルデバイド対策

(8)AI・RPA

(9)新計画策定・人材育成

(10)データ利活用

問合せ先

◆LGWAN チャットにおける ChatGPT 機能、その他 DX 関連

企画経営部 情報政策課長 片平

電話:03-5764-0611

企画経営部 副参事(システム担当) 間

電話:03-6436-8722

◆うぐいすネット、大森北四丁目複合施設・(仮称)田園調布せせらぎ館体育施設

地域力推進部 地域力推進課長 大淵

電話:03-5744-1221

◆障がい者総合サポートセンター

障がい者総合サポートセンター次長 杉村

電話:03-5728-9131

◆まちづくり情報閲覧システム

まちづくり推進部 都市計画課長 深川

電話:03-5744-1331